

海外情報

No.24

調査者	宇野 勲
情報ソースの刊行日	2020年5月8日
情報ソースの調査日	2020年5月11日
日本理学療法士学会 HP に公開された日	2020年5月13日
日本語タイトル	COVID-19 肺炎後の退院後の患者フォローアップ。感染管理のための考察
情報ソース	Journal of Medical Virology
情報のカテゴリー	レビュー論文
発信地域	中国
DOI	10.1002/jmv.25994
URL	https://www.ncbi.nlm.nih.gov/pubmed/?term=32383776
要約	<p>COVID-19 患者は、退院後に再陽性、長期的な肺機能低下、PTSD などの問題を抱える可能性が高くなっている。</p> <p>フォローアップの戦略として、以下が挙げられている。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 隔離：退院後、自宅またはホテルで 14 日間。 ② PCR 検査：2 週間の隔離後に再度行う。 ③ 画像検査：肺病変がなくなるまで CT。コルチコステロイド使用者は 3-6 か月 MRI 検査を行う。 ④ 肺機能検査：外来受診時に肺機能検査を受ける。 ⑤ 精神衛生、QOL：評価ツールを用いて自己評価する。 ⑥ 追跡管理：遠隔で 3 日、2 週、3 か月、6 か月時点、外来で 1 週、2 週、1 か月時点でフォローアップを行う。
最も注目するポイント 理学療法にどのように役立つか？	COVID-19 患者の退院後の管理方法は、地域で活動する理学療法士も知っておくべき事項である。